





企画展

# 暮らしのなかの道具

2025  
1/25(土) ▶ 5/18(日)

入館無料日

1/25(日)・5/17(日)・18(日)



### 和かさ(からかさ)

竹のほねに、油をしみこませた和紙がはられています。



かさどくとな油のにおいがしますよ。大きな輪の模様をデザインしたかさは、蛇の目に見えるので「蛇の目がさ」といいます。開きかげんは2だん階。強い雨の時はかさがやぶれるので、と中で止めてせまくて使いました。

### カメラ・8ミリカメラ

写真館に行かなくても、家庭で写真を撮るようになりました。8ミリカメラは動画をさつえいするさきがい。どちらフィルムに記ろくします。



レンズの数で「一眼レフカメラ」「二眼レフカメラ」といいます。写真店でフィルムを「げんぞう」「やきつけ」してもらわないと写真を見ることができません。



### ダイヤル式電話とファクシミリ

スマホはカメラ機能と電話機能がいっしょ

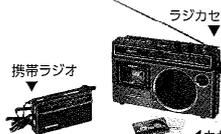
電話をかける時は中央にあるダイヤルを回しました。



黒電話は昭和の後半にはほとんどの家庭で使われていました。ファクシミリ(ファックス)は、電話回線を利用して、紙に書いた文字や絵を送ることができます。家庭におかれ始めたのは1970年代のこと。ゆうびんよりはるかに早くとどく便利な通しきでした。

### ラジオ・ラジカセ

ラジオ放送が始まったのは大正14年(1925)。テレビがふきゅうするまで、電波でじょうほうを受けとる道具の代表でした。



どこでも音楽をさくことができるため人気。ラジオ番組のろく音もできました。

1970年代に入るとカセットテープに録音するキノウを内ぞうしたラジオカセットレコーダー(ラジカセ)が出回りました。

### 電子レンジ

火を使わずに食べ物を温められるべんりな道具。食品にふくまれている水分を電じ波で発ねつさせます。



この家庭用電子レンジは昭和46年(1971)に発売されました。1年間でもらえる給料が平均100万円の時代、かかるとは8万円台!それでも当時もっとも安かつたそうです。

### 展示解説会 ●申込不要 ●参加料/入館料のみ

●日時/1月25日(土)	13:30~14:10	5月 5日(金)	13:30~14:10
2月23日(金)	15:10~15:50	5月11日(土)	15:10~15:50
3月 8日(土)	13:30~14:10	5月17日(土)	13:30~14:10
4月29日(火)	13:30~14:10	5月18日(日)	13:30~14:10
5月 4日(日)	13:30~14:10		

# 企画展 暮らしのなかの道具

●日時/2025年1月25日(土) - 5月18日(日)

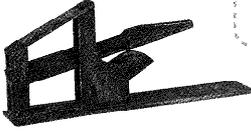
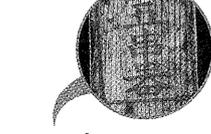
まだまだいろいろなものがあるんだよ



### 展示の一例です

### かてきり器

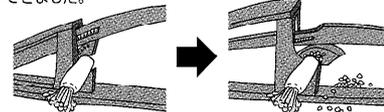
「五串器」の焼印がおされています



大根を短時間でみじん切りにすることができました。

大根をごはん粒大にきざむために使います。ごはん粒大に切った大根は、米にまぜて炊き、かさを増やしました。ごはんのふそくをおぎなうために、麦、あわ、ひえ、いも、やさい、海草などをまぜて炊いたごはんのことを「かてめし」といいます。昭和30年代ごろまでは、白米をおなかいっぱい食べられない家庭がたくさんありました。

「五串」は一関市げんび地区をしめす昔の地名。この「かてきり器」は一関市で作られたことが分かります



### せんたく板・たらい

電気せんたくきを使うようになるまで、せんたくは時間のかかる家事でした。とくに、水をつめたい冬には、つらい仕事でした。

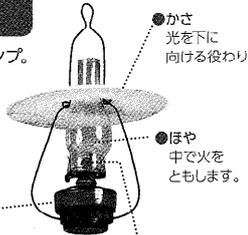
水がつめたく、しもやあかざれができそう...



たらいに水をため、何本ものみぞをはったせんたく板にせんたく物をこすりつけてよごれを落としました。

### 石油ランプ

石油をねりょうとするランプ。明治時代にヨーロッパからもたらされた明かりの道具です。すぐに国内でも作られるようになりました。



●ピン 石油を入れます。  
●芯(しん) 布製(ぬのせい)。石油がしみこみます。先に火をつけます。  
●かさ 光を下に向ける役わり。  
●ほや 中で火をともします。

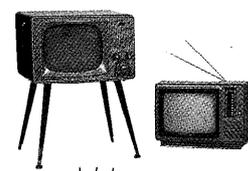
### 館長講座 ●定員/50名(電話申込必要) ●参加料/無料 ●申込電話番号/0191-29-3180

「雪国の春 - 柳田國男を読む -」

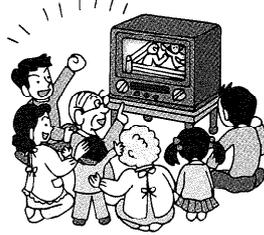
●日時/2月23日(金) 13:30~15:00

「餅の文化史」 ●日時/5月11日(日) 13:30~15:00

### 白黒テレビ・カラーテレビ



日本でさいしょに作られた白黒テレビが発売されたのは、昭和28年(1953)。プロレスが大人気でした。家庭にカラーテレビがふきゅうしたのは、昭和39年(1964)に開きさいされた東京オリンピックがきっかけでした。



当時のテレビは非常に高価なものでした

### バリカン

かみの毛を短く切るのに使う道具。

子どものかみの毛は、お父さんやお母さんが切ることがよくありました。



トラがりにしないでね



かみがたには、短く切りそろえる丸刈りや坊主刈り、耳の下あたりまでかりあげて、その上は長く切りそろえるぼつちゃん刈りなどがありました。髪の毛の長さをじょうずにそろえられず、トラのしまでもようになってしまうのをトラ刈りといっています。

### レコードプレーヤー

レコードにはうずまきじょうにみぞがきざまれています。レコードプレーヤーが少しゆるるだけでも、はりがつつみぞに移動してしまい、音がつかなくなります。



### 【使い方】

- ①コンセントをさしこみます。
- ②レコードを円ばんの上にセットします。
- ③アームをもち上げると円ばんが回転を始めます。
- ④回転しているレコードのはじに、アームの先についているはりをそっと乗せます。

### 電気すいはんき

昭和30年代、発売初期の電気すいはん器。

火をつかつかまど炊きとちがいスイッチをおすだけでごはんが炊けてとても便利な家電でした。

でも、保温きのはありませんでした



### 一関市博物館

【道の駅 殿美浜】隣り

